

岐阜市立岐阜小学校の5年生を対象に防災教育(陸閘について)を実施しました。

- 日時：平成29年9月28日(木) 13:50~14:35 (45分)
- 場所：岐阜市立岐阜小学校
- 対象：岐阜小学校5年生 ※全学級(2クラス:41名)対象
- 内容：長良川の陸閘について(設置の経緯、種類、役割等)
- 展開：教えるプロである教師が、通常の授業の中で継続的に防災教育を実施する体制を整える第一歩として、今回は「導入」「まとめ」部分は岐阜小学校篠田先生が担当し、「本題」部分は木曾川上流河川事務所が担当した。

課題：なぜ、私達が暮らしている長良川には「陸閘」があるのでしょうか。

授業の「導入」部分

約5分



長良・大宮陸閘操作点検(6/3~4)を見学された先生が、児童に対して「陸閘の役割について」の課題の提示(篠田先生)

授業の「本題」部分

約20分



木曾川上流河川事務所より、陸閘の設置の経緯、種類、役割等について説明

授業の「まとめ」部分

約20分



陸閘は私達にとって、なくてはならないものであることが分かった。

自分の家も陸閘や堤防によって守られていることを知った。



授業で分かったことや感じたことや考えたことを児童が発表(篠田先生)